

# 委員会報告

平成18年第3回定例会において、各委員会委員長より第2回定例会（平成18年6月）以降の所管事務調査について報告がありました。

## 総務常任委員会

### 滞納者の意識改革に努めよ

開催日 平成18年8月11日

委員長	松本浩司
副委員長	鈴木正範
委員	中津伸一郎
委員	猪狩新一郎
委員	坂本紀一



広島町サッカー場クラブハウス工事現場

### (2) 平成18年度の町税課税状況

税金の滞納者が増加しています。現在の社会経済情勢から見ても、真に困窮している人は分納による方法などにより救済し、納税意識が希薄な人は意識の改革に努めるなど、納税義務者間の不公平感を無くし、税収を上げるよう要望しました。

廃棄物埋立地については、1年から2年で使用不能になるため、広域圏組合では新たな埋立地を探しているということでした。これらを勘案し、当町においても町美化条例に基づく循環型社会を形成すべきという意見が出されました。

※17年度負担金の内訳

総務費	1,248万円
衛生費	7,904万円
消防費	1億3,696万円

## 調査の結果

### (1) 国際人育成支援施設整備事業

男子寄宿舎新築工事は、工期的に厳しい工事であるため、粗漏工事にならないよう品質の確保と工事の安全性に最大限傾注し、工期内完成に向けて監理・監督に努めるよう要望しました。

また、町発注の公共事業については、できる限り地元商工業者が参加できる体制づくりを町として検討するよう提言しました。

### (2) 双葉地方広域市町村圏組合施設の現地調査

広域市町村圏組合は、双葉郡内8ヶ町村で構成されています。また、この事業には、広野町でも2億2,849万6,000円（平成17年度）負担（※）しています。今回は、汚泥リサイクルセンターと南部衛生センターを視察し、産業・生活廃棄物の処理について現況を確認しましたが、特に

### (3) 町民予算提案事業（1%予算事業）

平成19年度より、町民の意思を結集して夢のある町づくりを町民とともに進めて行くため、町民が自ら予算を提案することができると町民予算提案事業を実施したいという説明がありました。



汚泥リサイクルセンター視察（大熊町）



森林環境教育講演会（小学校）

## 産業常任委員会

### 中央台・山ノ神線は11月に開通

開催日 平成18年8月17日

委員長	渡邊正俊
副委員長	新妻良平
委員	佐川栄蔵
委員	渡辺久長

## 調査の結果

### (1) 平成18年度産米の生産目標

稲作農家の米の生産調整申告は既に済み、目標を達成していますが、今後の加工用米の集荷状況や振興作物等の収穫状況によっては目標数値の変動も考えられるため、状況を見守りながら調査します。

### (2) 森林環境交付金事業

今年度から創設された森林環境税を財源とした森林環境交付金事業については、当町では主に小・中学生に対する森林環境教育が計画されています。今後は町独自の計画を作成して事業の推進に努めるよう提言しました。

### (3) 6月16日の大雨災害

被災箇所のうち、通行止めや農業用水路の閉塞等で緊急を要するものは、既に復旧事業が行なわれました。また、農地災害箇所の復旧工事については、当該地権者との話し合いを十分に行い、受益者から負担金を徴収するものについては、特に慎重に対応するよう要望しました。



土砂崩れで農業用水が閉塞（関ノ上地区）

### (4) 町道中央台・山ノ神線

本路線の計画延長約1,400メートル区間については、11月に供用が開始される予定です。また、県道上戸渡・広野線の寺所地内から虻木地内までの未計画区間、延長270メートルについては、利用者である町民の利便性を第1に考え、全線開通に向けて努力するよう要望しました。

### (5) 県道広野・小高線

本事業については、遅々として事業の進展がないため、本路線の起点を変更することも視野に入れ、県道広野・小高線整備事業、それに合わせて町道整備事業の推進をはかり、1日も早く地域住民の生活道路を確保したいという説明がありました。

### (6) 生活道路現道舗装事業

当初予算に計上した事業はほぼ完了しましたが、この事業は住民福祉の向上に大きく寄与することから、次年度以降の計画の前倒しについても、町民が公平に本事業の恩恵を受けられるよう配慮して事業を推進するよう要望しました。

### (7) 平成18年度工事発注状況

今年度発注された建設グループ所管の工事11件については、いずれも計画どおりの進捗状況でした。今後発注予定の工事についても可能な限り早期に発注し、安全性の確保と年度内完成に努めるよう要望しました。